

鹿児島医セン

鹿児島医療センター(心臓病・脳卒中・がん専門施設)

2023.6

vol.206

部門紹介

臨床検査科

臨床検査科は病理診断科の野元部長や城ヶ崎医長、また西方臨床検査技師長を始めとする常勤臨床検査技師、非常勤臨床検査技師、検査助手の総勢30名で日々の業務に従事しています。

臨床検査は、人体から採取した血液、尿などの検体を調べる検体検査と人体を直接調べる生理検査に大別されます。当院の検体検査は主に2階にて、生化学・免疫検査をはじめ、末梢血



および骨髄での造血の状態や腫瘍細胞の有無を調べる血液検査、組織(細胞)より悪性の有無を鑑別する病理検査、感染症を起こしている原因菌の同定および治療に有効な抗生剤を選択するために行う細菌検査、安全な輸血を行うため輸血用血液製剤が適合するかを確認する輸血検査をおこなっています。生理検査は、当院1階にて心電図、肺機能検査、ABI検査、脳波検査、聴力検査などに加え、心臓超音波検査、血管超音波検査、腹部超音波検査を行っています。また、心臓カテーテル検査においても心電図および血圧モニタリングなどを担当しています。このように、臨床検査の業務範囲は広く、専門性も高いため、限られた人員で複数の検査に対応しています。

昨年度は、10年以上使用した生化学、免疫検査の分析機器および検体搬送機の機器更新が行われ、より迅速かつ正確な検査結果を臨床側へ提供できるようになりました。この機器更新に伴い、臨床側より要望のあったコルチゾール、バンコマイシン、タクロリムス、TSHレセプター抗体、Cペプチド、SCC、NT-proBNPの7項目が院内測定可能となりました。さらに、今年度4月には新型コロナウイルス抗原定量検査機器が導入され、PCR検査と同等の感度かつ30分以内での結果報告が可能となり、今まで以上に院内感染対策に貢献できると考えています。また、新型コロナウイルス感染症の流行以降途絶えていた外部からの研修生の受け入れも、昨年度は超音波検査5名および心電図検査2名、学生実習生3名を受け入れることができました。さらに、多くの技師が業務の傍ら学会発表、論文執筆および専門資格取得に挑戦しており職場には活気があります。

国立病院機構の臨床検査技師は、九州管内での転勤があります。年度毎に検査室の顔ぶれは変わり新鮮ではありますが、検査技術の担保は課題でもあります。検査のスペシャリストかつジェネラリストの育成とともにハード面、ソフト面を見直しつつルーチン業務の効率化、迅速化を進め、診療科からの多様なニーズに応えられるよう日々努めています。

最後になりますが今後とも臨床検査科へのお力添えを何卒よろしくお願いいたします。

(文責:副臨床検査技師長 梅橋 功征)

研修医の声



石丸 綺梨

4月より鹿児島医療センターで初期研修医として働かせていただいております。石丸綺梨と申します。生まれ育った鹿児島で医療に携わることができ、また医師としてのスタートを鹿児島医療センターで切ることができて大変嬉しく思います。鹿児島大学出身で大学では硬式テニス部に所属しておりました。4、5月は第一循環器内科を回らせていただき、先生方のご指導のもとカテーテル治療や救急外来対応、病棟業務など多くのことを学び、経験させていただいております。日々学ばなければいけないことが多く、自分の未熟さを痛感する日々ですが新鮮で充実した研修生活を送っております。指導医の先生方やスタッフの方々から丁寧に教えていただき大変感謝しております。研修の中で至らぬ点もありご迷惑をおかけすることも多いと存じますが、今の初心を忘れずに精一杯努力いたしますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



大窪 麻由佳

はじめまして。4月から鹿児島医療センターで研修させていただいております。大窪麻由佳と申します。私は県外の大学出身のため、生まれ育った鹿児島で医師として働くこと、専門性の高い先生方から医師としての基礎を学べることを嬉しく思っています。現在、4・5月は第一循環器内科で研修させていただいております。病棟業務など不慣れなことが多くご迷惑をおかけすることもあります。学年のころとは全く異なる環境で日々新しいことを学ぶことができ、充実した毎日を過ごしております。また、指導医の先生をはじめ、先輩や同期、さまざまな医療スタッフの方のあたたかいサポートのおかげで研修できています。痛感しております。至らぬ点も多々あるかと思いますが、一日も早く多くの人の役に立てよう、2年間精一杯頑張りたいと思います。どうかご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



尾辻 良彦

お疲れ様です。久留米大学出身の尾辻良彦と申します。初期研修医として鹿児島医療センターで学ばせていただいております。自分は現在、外科・消化器外科をまわっています。手術を中心に、腹腔鏡などの専門性の高い手技の見学や、外科として必要最低限の技術を実際の現場で先生方にご指導いただいております。ただ見るだけで終わっていた医学生ではなく、人に医療行為を行える研修医としての自覚が芽生えてきました。先生方も指導や質疑応答などでわかる際には、丁寧かつ優しく教えてくださり、時たま小粋なジョークを挟んで場を和ませるなど、その人間性の高さにも日々驚かされています。自分は「志望する科を決めること」「3年目に何か一つはできるレジデントになること」を目標に研修をスタートさせました。まだ右も左もなんなら真ん中すらわからない駆け出しではありますが、体力と根性だけはあります。ご指導のほどよろしくお願いいたします。



木村 裕貴

はじめまして、今年度から鹿児島医療センターで初期研修をさせていただきます木村裕貴です。よろしく申し上げます。出身大学は鹿児島大学です。

4、5月は第二循環器内科で研修をさせていただきます。今までに大学で学んだことを生かすことができるとは思っていたのですが、いざ研修が始まると分からないことだらけで、日々新しい経験の連続で1日1日が一瞬で過ぎていきました。そんな中で、採血の方法やカルテの使い方などの基本的なことから丁寧に指導してくださった指導医の先生、研修医の先輩方、看護師さんの方には大変お世話になりました。早く一人前の医師になれるよう努力します。

また、今後は様々な科で研修をしていきたいと思っています。3年目以降何科に進むかはまだ決めていませんが、今後に生かせるように精一杯研修に取り組みます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



佐藤 克哉

はじめまして。4月より鹿児島医療センターで初期研修をさせて頂いております佐藤克哉と申します。循環器・がん・脳卒中を中心に高度医療を支えている鹿児島医療センターで研修できることを大変嬉しく思っています。初めは院内の配置やカルテの使い方も分かりませんでしたが、先生方や看護師の方々をはじめ、その他多くのスタッフの皆様に助けられ、学びある毎日を送らせて頂いております。4月から脳血管内科で研修させて頂いており、ちょうど2ヶ月が経とうとしています。脳血管内科では病棟業務、急患対応、カテーテル治療など幅広い経験ができ、とても充実しています。まだまだ分からないことばかりで、これから先もご迷惑をかけることがあると思いますが、少しでも早く戦力として働けるよう精進してまいります。そして初期研修を通して、医師としての生涯にわたる礎を築いていきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



下津 奈央

はじめまして。

4月から鹿児島医療センターで初期研修をさせて頂いております下津奈央と申します。

4、5月は血液内科を回っております。

始めはカルテ操作や採血、ルート確保などの基本的な手技も不慣れで時間がかかり、指導医の先生方や研修医の先輩方をはじめ、多くの方々に1つずつ教えてもらう毎日でした。

最近はやっと基本的な業務には慣れてきたものの、薬剤の選択、検査のオーダー、検査結果の読み方、患者さんとの関わり方など毎日新しい疑問にぶつかり、少しずつ学びが増えていくことを感じています。

また、5月から救急外来の当直が始まり、普段の業務とは違った環境で学ばせていただけることも、自分の中では非常に良い経験になっていると感じております。

学生の頃の実習とは異なり、一人の医師として責任を伴う立場になり、緊張感がありつつも、充実した毎日を過ごしております。

まだまだ未熟ではありますが、この2年間の研修を有意義なものにできるよう頑張っていきたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



園田 攝也

はじめまして、川崎医科大学から来ました研修医1年目の園田攝也（そのだせつや）です。岡山での大学生活を終え、地元鹿児島に戻ってきました。生まれ育った鹿児島で働くことができるとをうれしく思っています。

4月から2か月間、脳血管内科を回らしていただいております。カルテの書き方や救急外来での対応や病棟管理などわからないことだらけですが、周りの先生方や先輩方やスタッフの方々が一から親切に教えてくださり、多くのことを学ばせていただいております。

これから2年間様々な科を回ることとなりますが、患者さんとの関りを大事にしながら少しでも成長できるよう頑張っていきたいと思っております。

至らぬ点が多く、ご迷惑をおかけすることもあるとは思いますが、少しでも早く皆様のお役に立てるよう努力していきたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



田中 大智

初めまして。この度、臨床研修医として入職いたしました。田中大智（たなかだいち）と申します。鹿児島大学出身です。

学生から社会人になり二か月ほど経ちましたが、新たに学ぶことの多さに嬉しいながら圧倒される日々を過ごしております。新しい環境に身を置くにあたり、不安なことも多々ございますが、その不安以上に数多くの方々のあたたかいご支援のもと研修できることに心より感謝いたします。私にできることはまだまだ少ないですが、これから日々学び、少しでも患者様や病院に貢献できるように努めて参る所存です。二年間と限られた期間ではございますが、一つ一つの出会い一日一日の日々を大事にしつつ一生懸命研修に臨みたいと存じます。至らぬ点多くご迷惑をおかけしますが、今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



中馬 洋介

初めまして、4月から鹿児島医療センターで研修させていただくこととなりました。中馬 洋介（ちゅうま しょうすけ）と申します。福岡大学出身で、部活は準硬式野球部に所属していました。地元鹿児島県の温かさが恋しくなり、初期研修から鹿児島に帰りたいと思い、兄弟二人もお世話

になった、鹿児島医療センターを希望させていただきました。私は三人兄弟の末っ子で兄、姉ともに当院で研修させていただき、先生方、スタッフの方々には大変お世話になりました。一番できは悪いですが、伸びしろとやる気だけは一番あると思っています。4月5月は第2循環器内科で勉強させていただいております。日々押し寄せてくる自分の無力さと座学と臨床とのギャップにのまれながらも、先生、看護師の方々、コメディカルのスタッフのご指導のおかげで、少しずつ成長も感じる日々を過ごしております。今後ともご迷惑をおかけするとは思いますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



塚田 光助

はじめまして。4月より鹿児島医療センターで研修させていただいております塚田光助と申します。私は生まれも育ちも鹿児島で、この鹿児島医療センターで初期研修ができますことを大変うれしく思います。

ローテーションで回っている診療科や救急外来では、指導医の先生方やコメディカルの方々に基本的なことから教えていただき、させていただける手技も多く、研修医として充実した日々を送らせていただいております。

初期研修が始まり早2か月が経とうとしていますが、研修医の仕事、生活に慣れることに精一杯で自分の知識の浅さ、手技の拙さを痛感させられる毎日です。何かとご迷惑をおかけすることもあると思いますが、これから2年間常に学ぶ姿勢を持って一人前の医師になれるよう日々精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



橋口 明日奈

今年度より鹿児島医療センターで研修させていただいております。橋口明日奈と申します。4月は消化器内科、5月は麻酔科を回らせていただきました。初めは採血、末梢静脈路確保、挿管なども思うようにできませんでしたが、先生方にご指導いただき少しずつ手技が上達していくことにとてもやりがいを感じています。また、様々な職種が協力合うことにより安全な医療が提供されていることを改めて実感し、医療者として身が引き締まる思いです。まだ慣れないことばかりですが、少しでも早く患者さまやスタッフの皆さまに信頼される医師になれるよう日々努力していきたいと思っております。将来の診療科やどのような働き方をしたいかはまだしっかりと決まっていますが、2か月研修をさせていただくなかで様々な分野に魅力を感じ、他の診療科も早く回りたいという思いになりました。多くの経験を糧に医師として成長できるよう精進してまいりますので今後ともよろしくお願い致します。



穂満 玲美

初めまして。4月から鹿児島医療センターで研修をさせていただいております。穂満玲美（ほまんれいみ）と申します。生まれ育った鹿児島で医師として働くことができ大変嬉しく思います。

4月は泌尿器科、5月は麻酔科で研修をさせていただいております。カルテ操作や採血、ルート確保など基本的なことから患者さんへの接し方、仕事への向き合い方など様々なことを周りの先生方や2年目の先輩方、コメディカルの方々から学ばせていただいております。医師・社会人として未熟者で失敗も多々あり、反省の日々ですが、その分、吸収することも多く、充実した毎日を送らせていただいております。温かく見守ってくださり、丁寧に教えてくださる先生方や先輩方、コメディカルの方々には感謝の気持ちでいっぱいです。この2年間でたくさんのご経験し、医師・社会人として成長できるよう精進してまいります。至らぬ点多くご迷惑をおかけすることもありますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



松下 朋彦

はじめまして。鹿児島医療センター研修医1年目の松下朋彦です。研修が始まって早くも2ヶ月がたとうとしていますが、忙しくも学びの多い毎日を送っています。私は4、5月の2ヶ月間、脳血管内科にお世話になっています。学生の間は、自分が研修医として働いている姿が全くイメージ

できませでしたが、今では少しずつ、研修医の仕事内容や動き方を把握できてきました。脳血管内科では、病棟の管理や急患対応が研修医の主な仕事となります。病棟では主治医として、医学的知識はもちろんのこと、患者さんとのコミュニケーションも、上級医の指導の下学ばせていただいております。急患対応では、患者さんの採血やルート確保をはじめとした手技に加え、問診や身体所見のとり方を学んでいます。急患の数によって1日の忙しさにムラはありますが、脳梗塞発症早期の患者さんであれば、薬剤による麻痺の改善を目の当たりにできるのは魅力の1つだと思います。今後、失敗や挫折も多く経験するとは思いますが、この2年間の研修を将来の医師生活の糧とできるよう、全力で研修に臨みたいと思います。



森田 裕貴

初めまして、当院研修医1年目の森田裕貴と申します。4月より鹿児島医療センターでお世話になっております。

私は、4、5月と第2循環器内科を回らせていただいておりますが、毎日勉強になることばかりで、当たり前ではありますが学生時代の勉強とは違った実践的な勉強をさせていただいているなど感じております。先生方が皆さん優しく、熱心に教えてくださり、研修の序盤は不安や緊張でいっぱいでしたが、何とか毎日を送ることができています。

私は、まだ希望する科も決まっていないため、この2年間の研修を通して、先生方のお話を聞かせていただいたり、様々な科をまわり、様々な経験をさせていただいたりしながら希望する診療科を決めたいと考えております。また、この2年を通して急性期疾患への対応を身に着けることができると考えております。積極的な姿勢で研修を行い、できるだけ多くの経験を積みたいたいと考えておりますので、ご迷惑をおかけすることもあるとは思いますがご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



吉留 萌

初めまして。4月から鹿児島医療センターで研修医1年目として勤務しております。吉留萌と申します。県外の大学に通っていたので、鹿児島に戻り地元医療に携わることができ大変嬉しく思っております。

現在第一循環器内科で研修させていただいており、処方の仕方や基本の手技、救急外来における対応の流れなど様々なことを学ぶことができている。初めは慣れないことばかりで緊張する日々でしたが、指導医や循環器の先生はもちろん看護師さんなどコメディカルの方々も優しく丁寧に指導して下さり大変感謝しております。この1か月間で少しずつできることも増え、充実した研修生活を送ることができています。一つ一つの経験を大切にこれからの糧にしていきたいと思っております。まだまだ未熟でご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、今後様々な診療科で研修しながら多くのことを吸収していきたいと考えていますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

新任紹介



心臓血管外科
嶋 幸志

宮崎県都市にある藤元総合病院に約7年間勤務し、この度4月より当院心臓血管外科に着任いたしました。思い返せば2002年に当院で心臓血管外科レジデントとして勤務していた時期があり、当時右も左もわからずただ忙しく過ごした思い出が懐かしく蘇ります。あれから20年の年月が経過し私もすっかり歳をとりましたが、今度は頼もしい若手の先生たちと働くことができ感慨深いものがあるとともに初心を忘れずスタッフの皆さんとともにさらに精進して参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



心臓血管外科
安村 拓人

鹿児島大学病院より4月から心臓血管外科に赴任しました。当院は研修医時代から含めると4回目の赴任になります。大学病院よりも定例の手術件数や急患が多く、毎日の業務をこなすのがやっとなのですが、技術の取得のほか、患者さんやご家族の気持ちに寄り添うことも大事にしたいと思います。各先生方やスタッフの方々にはまたご迷惑をおかけしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。



皮膚腫瘍科・皮膚科
平野 慎悟

2023年4月より皮膚腫瘍科で勤務させていただくことになりました。滋賀医科大学出身で、この3月まで滋賀県内の病院に勤務しておりました。手術手技や皮膚腫瘍全般だけでなく、滋賀県が琵琶湖に隔てられた医療圏を有しているのと同様、錦江湾や外洋に隔てられた医療圏での地域との連携など医療体制についても学んでいきたいと考えております。不慣れなことも多く、ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、スタッフの皆さんのお力をお借りしながら精一杯頑張りますので、何卒よろしくお願い致します。



皮膚腫瘍科・皮膚科
山本 宗太郎

平素は大変お世話になっております。2023年4月より皮膚腫瘍科に赴任しました、山本宗太郎です。出身は熊本県で熊本大学病院卒後、前職の熊本大学病院皮膚科で勤務していました。様々な経緯を経て鹿児島医療センターで勤務させていただく運びとなりました。新しい環境で知見を深め、さらに成長していきたいと思っています。若輩者でご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、皆様の一助になるよう努力していく所存です。何卒よろしくお願い致します。



放射線科 レジデント
阿久根 健太郎

4月より放射線科レジデントとして赴任いたしました、専攻医3年目の阿久根です。名字の通り鹿児島で育ち、鹿児島大学出身です。研修医時代は南風病院で過ごし、専攻医となってからは鹿児島市立病院、鹿児島大学病院とを勤めて参りました。貴院での勤務は初めてで、まだまだ未熟なこともあり各科の先生方やスタッフの皆様にご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、少しでも早く一人前となれますよう邁進いたしますので、皆様どうぞよろしくお願い致します。



■お問い合わせ先

独立行政法人
国立病院機構

鹿児島医療センター (心臓病・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号

(代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <https://kagomc.hosp.go.jp/>

メディカルサポートセンター

地域連携室専用FAX▶099(223)1177

※休日・時間外は当直者で対応します。

